

平成29年度熊野学講演会・歴史探訪スクールオープン講座

ひらのごうしゃ

くまたじんじゃ

平野郷社(杭全神社)縁起絵巻 —大阪平野区杭全神社の熊野信仰—

大阪市平野区の杭全神社は、牛頭天王(祇園社)と熊野権現の二柱を祭神とし、古くは平安時代初め、征夷大將軍坂上田村麻呂の子、広野麻呂を開発領主とした平野郷の郷社で、中世には杭全庄の総社、近世には平野郷町の産土社として近郊の信仰を集めました。今回は熊野信仰の一つとして杭全神社に現存する三つの絵巻、「平野郷社(杭全神社)縁起絵巻」「熊野本地絵巻」「平野郷牛頭天王祭礼図」より「縁起絵巻」を紹介し、中世から近世にかけて在郷町として発達した平野、現在に続く和歌・連歌の奉納、特に連歌の興行について紹介し、大阪の地の熊野信仰の一端を考えます。

日時

2017年8月19日(土)

午後2時～4時

入場無料 どなたでも聴講いただけます

場所

新宮市福祉センター(新宮市野田1-1)



(杭全神社 境内)



講師 鶴崎 裕雄 さん (帝塚山学院大学名誉教授)

～プロフィール～

大阪市生まれ。関西学院大学経済学部卒、関西大学大学院修士課程(日本史)・関西大学大学院博士課程(国文学)修了。帝塚山学院短期大学学長・帝塚山学院大学人間文化学部教授を経て、現在、帝塚山学院大学名誉教授・文学博士。主な著書に『戦国の権力と寄合の文芸』『戦国を往く連歌師宗長』など多数。

主催 新宮市教育委員会 熊野学研究委員会

問合先 新宮市教育委員会文化振興課 Tel.0735-23-3368